

ユーロクレジット・トータルリターン戦略に注目

戦略アップデート

ユーロクレジット市場は、7月単月で1%、年初来で3.11%のトータルリターンを上げ、比較的堅調な推移となりました¹。不動産および銀行が優れたパフォーマンスを上げた一方、テクノロジーおよび小売が特に不調でした。強力な市場パフォーマンスにもかかわらず、市場センチメントは世界的景気後退に対する懸念の方に動きました。マクロ指標が下降傾向にあり、ECB（欧州中央銀行）がインフレの「腰を折る」目的でマクロ経済により多くの打撃を与えており、実体経済への影響がすでに感じられつつあります。

市場の不透明感に直面しつつ、**ユーロクレジット・トータルリターン戦略は堅調に推移しています**。当社では、当戦略が今後のボラティリティを乗り切る上で良好なポジションを維持し、楽観視できる理由が今なお数多く存在すると見えています。

楽観視できる理由

1

アンコンストレイ ンド・アプローチ

当戦略のアンコンストレインド（無制約）アプローチは、厳しい市場環境に対応するよう設計されています。ユーロ建て投資適格債全体に投資する能力およびハイイールド債配分に対する幅広い投資余地をもつ当戦略は、ユーロクレジット・ユニバースの随所で投資機会が浮上した場合に対応でき、質の高いポートフォリオの提供を目的とします。

2

多数のアルファ源

当社の投資プロセスは、強化された市場セグメンテーションに注目し、ディフェンシブ、インターミディエイト、アグレッシブという様々なリスクバケット全般に配分します²。そうすることで、当戦略のポートフォリオ・マネージャーは、トップダウン型の管理アプローチと、これらのリスクバケットおよびリターン・ドライバー全体にわたる戦術的配分を組み合わせることでアルファを追求します。

¹出所：アクサIM、Bloomberg 2023年7月31日時点。ER00指数の定義によるユーロ建てクレジットのユニバース

²ユーロクレジット・トータルリターン戦略におけるディフェンシブ（防衛的）/インターミディエイト（中間）/アグレッシブ（攻撃的）とはアクサIMの専門用語であり、当社が戦略の投資可能な債券ユニバースをおおまかに分類する方法を指します。ディフェンシブ型債券とは、政府債のように、主として金利の推移によりパフォーマンスを上げるものを指します。インターミディエイト型債券とは、投資適格社債のように、金利とクレジットスプレッドの兼ね合いでパフォーマンスを上げるものを指します。アグレッシブ型債券とは、主としてクレジットスプレッドによりパフォーマンスを上げるものを指します。上記の記述は当社の戦略的アプローチのみを表しています。

3

経験豊かなチーム

当戦略のリード・ポートフォリオ・マネージャーは総計30年以上の運用経験をもち、およそ120名の投資プロフェッショナルが彼らをサポートしています。アクサIMがユーロクレジット戦略の運用を開始してほぼ20年になり、ユーロ・アクティブ・クレジット戦略の運用資産残高は150億ユーロに上っており、ユーロクレジット市場の投資機会追求において知見を有しています。³

4

現在の市場環境

インフレが減速し中央銀行の利上げサイクルがピークに近づきつつありますが、金利はしばらく高い水準を保つと考えられます。予想よりも高い金利が長引くというこのシナリオでは、発行体が極めて厳しいクーポンへの借り換えを免れないため、市場に影響が出ます。究極的には、企業の収益性が低下し、企業はより脆弱になるでしょう。そこでアクティブ運用かつ柔軟な運用戦略の出番となります。当戦略は、ユーロクレジット市場全般にわたる運用能力を有しており、このようなシナリオからリターンを最大化を目指します。クレジットが現在、特に利回りの観点から魅力的なエントリーポイントを提供していることから、当社は現在の環境を投資機会と見ています。

ユーロクレジット・トータルリターン戦略における主要リスク

当社では、当戦略を7スケールのうち3、つまり中～低リスククラスに分類しています。この分類では、将来のパフォーマンスによる損失の可能性が中～低レベルと評価されます。この商品に伴うリスクカテゴリーはこれまでの実績に基いて割り出されたもので、保証はなく将来変化する可能性があります。

為替リスク お客様は支払いを他の通貨でお受け取りになるため、最終的な収益は2通貨間の為替レートに左右されます。

サマリーリスク指標に含まれない、カウンターパーティーリスクやデリバティブリスクなどが、大きな影響を与える可能性があります。

当戦略は、将来の市場パフォーマンスに対するプロテクションを含まないため、お客様は元本の一部または全部を失う可能性があります。

ご留意事項

本資料は情報提供のみを目的としており、アクサ・インベストメント・マネージャーズまたはその関連会社による投資、商品またはサービスを購入または売却するオファーを構成するものではなく、またこれらは勧誘、投資、法的または税務アドバイスとして考慮すべきではありません。本文書で説明された戦略は、管轄区域または特定のタイプの投資家によってはご利用できない可能性があります。本書で提示された意見、推計および予測は主観的であり、予告なしに変更される可能性があります。予測が現実になるという保証はありません。本資料に記載されている情報に依存するか否かについては、読者の独自の判断に委ねられています。本資料には投資判断に必要な十分な情報は含まれていません。

投資リスクおよび費用について

当社が提供する戦略は、主に有価証券への投資を行います。当該有価証券の価格の下落により、投資元本を割り込む恐れがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動によっては投資元本を割り込む恐れがあ

³出所：AXA IM、2023年6月30日付

ります。したがって、お客様の投資元本は保証されているものではなく、運用の結果生じた利益及び損失はすべてお客様に帰属します。

また、当社の投資運用業務に係る報酬額およびその他費用は、お客様の運用資産の額や運用戦略（方針）等によって異なりますので、その合計額を表示することはできません。また、運用資産において行う有価証券等の取引に伴う売買手数料等はおお客様の負担となります。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

金融商品取引業者 登録番号: 関東財務局長（金商）第16号

加入協会: 一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、日本証券業協会

Ref-31822